

平成21年度事業報告

財団法人豊田市国際交流協会(Toyota International Association : TIA)は、昭和63年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本柱とし、地域の国際化を推進してまいりました。

平成21年度は、厳しい経済環境が続く中、国際化をとりまく状況は大きく変化し、これまでブラジル人を中心に増加を続けてきた外国人登録者はこの1年で約1,300人、約8%も減少いたしました。こうした中、TIAでは誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、これまで休日限定で実施してきた多言語相談を平日にも実施するとともに、就職のための日本語教室を1年間にわたって開催してまいりました。また、10月1日を「国際の日」と定め、記念講演やパネル展の開催を始め「国際の日」給食や、市内の44の飲食店、企業、公共施設等の協賛による優待制度等の事業を実施してまいりました。「国際の日」に関連して誘致した国際協力機構(JICA)のボランティア説明会では119人が参加し、内11人の市民が青年海外協力隊や、シニア海外ボランティアとして派遣されました。

一方、平成20年のブラジル移住100周年を記念して開催した「ビバ！ブラジルデー」のブラジル人参加者が自らの組織を立ち上げ、地域住民との交流事業を開催しました。TIAの登録ボランティアも376人と前年より10%近く増加し、新たに7つのボランティアグループとサークルが誕生するなど、厳しい環境の中であっても市民の知恵とパワーを改めて実感した1年でした。

これからも、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することを目指して実施する「国際の日」を始め、多様な国際化事業を市民の皆さまと取り組むことで、国際化のまちづくりを果たしてまいります。

1 交流事業

(1) 国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めた。

ア ウェイン州立大学（米国デトロイト市）

時 期 平成22年3月19日～24日

受入人数 3人

イ 桜花学園大学留学生（韓国）

時 期 平成21年11月14日～15日

受入人数 5人

(2) World Campus International (WCI) 受入事業

前身である Up With People の精神を引き継ぎ、参加者はホームステイや地域活

動などを通じて国際感覚やボランティア精神、リーダーシップ能力を養うプログラムに協力。また、参加者と市民との国際交流を図る。

時 期 平成21年4月4日～9日

受入人数 23人

(3) T I A ナショナルデー

とよたグローバルスクエアにおいて世界各国の文化や生活を紹介・披露するナショナルデーを開催し、外国人住民と市民との交流と相互理解の場を提供した。

時 期 平成21年4月12日～平成22年3月21日

日曜日 午後2時～

内 容 全18回

18か国の歌や踊りの披露、多文化体験、試食など

参加者 1,064人

(4) 国際の日の制定と普及（新規）

T I A が設立された10月1日を「国際の日」と定め、豊田市の住民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるようにPR事業を開催した。

ア 記念講演「みんな地球に生きるひと—今わたしたちができること」

時 期 平成21年10月1日（木）

内 容 アグネス・チャン氏による講演。世界の現実に目を向けることの大切さや地球規模の課題解決に向けての取組について。

参加者 188人

イ 市民活動紹介パネル展示

時 期 平成21年10月1日～4日

内 容 主に市内で活動する15の団体、グループの活動紹介。

ウ 記念給食と「おいしい！カード」配布

時 期 平成21年10月1日（木）

内 容 「おいしい！」が世界の言葉で書かれたカードを、記念給食の際、市内小・中・特別支援学校の児童生徒に配布。

エ 優待制度

時 期 平成21年9月～平成22年3月

内 容 44の飲食店、企業、公共施設等の協力。

オ 海外ボランティア説明会（国際協力機構（JICA）との共催）

時 期 平成21年10月3日（土）

内 容 JICA青年・シニアボランティアの募集説明会

参加者 39人

カ ビバ・ブラジルデー2009（豊田日伯協会との共催）

時 期 平成21年10月3日（土）

内 容 平成21年4月に結成されたブラジル人自助組織「豊田日伯協会」が豊田スタジアムにて日伯交流イベントを開催

キ 民芸館まつり「英語でガイド」

（TIAボランティアグループE-IFFとの共催）

時 期 平成21年10月3日（土）

内 容 E-IFFのメンバーが民芸館まつりを英語でガイド

参加者 17人

ク タンザニアの子どもたちの環境と文化に触れて考える国際貢献講座

（TIAボランティアグループオープンハートとの共催）

時 期 平成21年10月4日（日）

内 容 タンザニアの子どもたちの現状の紹介、お菓子作り、現代絵画の体験

参加者 60人

ケ あいちワールド・フレンドシップ・フェスタ（愛知県との共催）

時 期 平成21年10月10日（土）、11日（日）

内 容 フレンドシップ国との交流を行う市民団体や大学、政府機関の協力のもと、活動紹介、文化の紹介、ワークショップ等

コ PR事業

時 期 連合メーデー 平成21年5月9日（土）

まちパワーフェスタ 平成21年10月3日（土）

トヨタビッグホリデー 平成21年10月24日（土）

内 容 ブースを出展し、パネル展示、チラシ及びPRグッズの配布や国際の日クイズ等を実施し広く市民向けにPR活動を行った。

（5）その他各種共催事業

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体とともに開催し、交流事業の多様化を図るため、随時、内容検討の上実施した。今年度は、愛知県が開催する「あいちワールド・フレンドシップ・フェスタ」において、市

民グループ等との共働による展示ブースの設置やステージへの出演により、平成17年度の愛・地球博一市町村一国フレンドシップ事業の豊田市のフレンドシップ国のうち、6か国（韓国、フィンランド、ロシア、メキシコ、スリランカ、アメリカ）を紹介した。

時 期 平成21年10月10日（土）、11日（日）

午前10時～午後4時

会 場 愛・地球博記念公園（長久手町）

内 容 市民ボランティアグループ5団体が展示ブースにて、国・文化・交流活動の紹介、民族衣装の展示、食べ物の販売（5団体のうち2団体）を実施し、2団体が愛知国際児童館内のステージにおいて、文化を紹介するパフォーマンスを実施した。また、メキシコ大使館、韓国観光公社（韓国政府観光局）に国・文化を紹介するパンフレットの提供の協力をいただいた。

国 名	参加団体名	内 容
韓国 (展示/販売 ステージ)	在日本大韓国民団 愛知県豊田支部	民族衣装試着、韓国食品の販売(キムチ、のり他)、韓国伝統音楽(サムルノリ)の演奏
	韓国観光公社 (韓国政府観光局)	展示物の協力
フィンランド (ワークショップ)	ハノーバー・ユニット	フィンランドとの交流紹介 和紙漉きワークショップ
ロシア (展示)	言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ	交流写真展示、ロシアについてのクイズ
メキシコ (展示/販売)	桜花学園大学	メキシコ紹介・ポスターや民族衣装展示、食べ物(タコス)の販売
	メキシコ大使館	展示物の協力
スリランカ (展示)	自立のための道具の会	スリランカへの支援活動紹介展示とDVD放映、スリランカと日本の道具の比較及び体験等
アメリカ (ステージ)	ハラウ アイナ ホオプカ エカラ	フラダンスの披露

2 相談・斡旋事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業

通訳、交流、支援などを行うボランティア376人が登録し、多様な活動を展開した。また、緊急日本語講座や外国人求職者相談会には企業からのボランティアも多数参加いただいた。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人またはグループボランティアは、年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する人には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図った。

- | | |
|-------------|---|
| ①個人ボランティア | 通訳・翻訳
交流企画・推進ボランティア
業務サポート（機関誌発送作業など）
ホームステイ・ホームビジット |
| ②グループボランティア | |
| 国際交流 | オープンハート
日本文化紹介 |
| 国際協力 | ほづみ会 |
| 外国人住民と交流・支援 | E-IFF
ひらがなういずゆー
日本語サロン
A l p h a 日本語教室
日本語教室はじめのいっぽ（新規） |
| 学習・情報提供 | 海外生活体験者グループ |

イ ボランティア意見交換会の開催

T I A とボランティアグループの事業や活動状況の情報を共有するとともに、ボランティア活動環境の整備に努めた。

- | | |
|-------|--|
| 時 期 | 平成 2 1 年 4 月 2 6 日（日）、平成 2 2 年 3 月 7 日（日）
計 2 回 |
| 参 加 者 | 各グループ代表者及び中堅層 |

ウ 日本語支援ボランティア養成講座

日本語学習を支援するボランティアのためのオリエンテーションを開催し、T I A の教室で日本語学習のボランティア活動における初動体制を支援するとともに、その後の活動への定着を促した。

- | | |
|-------|---|
| 時 期 | 平成 2 1 年 4 月 4 日～平成 2 2 年 3 月 2 1 日 随時受付
全 2 5 回／年 |
| 内 容 | 初めて日本語指導を学ぶ人のための基礎講座 |
| 参加資格 | 日本語支援活動に興味があり、講座終了後はボランティア活動のできる人 |
| 参 加 者 | 3 6 人中 2 1 人が活動継続（定着率 5 8 %） |

(2) 外国人多言語相談事業

従来からの休日相談以外に、緊急雇用創出事業及びふるさと再生雇用事業において、平日についてもポルトガル語・中国語の相談窓口を増設した。これにより、年間相談件数は、1, 8 9 7 件にのぼった。

ア 休日ポルトガル語・中国語相談

ポルトガル語（土・日）、中国語（火午後・土午前）の体制で、外国人住民のための相談活動を実施した。

相談件数 153件

イ 外国人緊急相談

雇用状況の悪化に伴い急増している外国人からの相談に対応するため、ポルトガル語での相談窓口を平日にも設置し、関係機関窓口への仲介や情報提供、通訳・翻訳を行った。

時 期 平成21年4月14日～平成22年3月26日
毎週火曜日～金曜日 午前10時～午後4時

相談件数 319件

ウ ふるさと雇用再生特別基金中国語相談（新規）

雇用状況の悪化に伴い急増している外国人からの相談に対応するため、中国語での相談窓口を平日にも設置し、関係機関窓口への仲介や情報提供、通訳・翻訳を行った。

時 期 平成21年6月3日～平成22年3月31日
毎週水曜日～金曜日・日曜日 午前10時～午後4時

相談件数 27件

エ 当協会の職員による相談事業

上記相談員の配置がない時間帯においても、英語・スペイン語・タガログ語については、当協会職員により常時対応した。

時 期 平成21年4月1日～平成22年3月31日

相談件数 1,398件

(3) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、生命の危機など緊急性を要するケース、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに関するケースに対し通訳を派遣した。

依頼件数 6件

派遣回数 2回

言 語 ポルトガル語2件

(4) 翻訳事業

市役所など公的機関に提出する公的書類についての翻訳を行うとともに、中国人住民への行政サービス等に関する翻訳業務を市から受託し実施した。

依頼件数 市依頼分：39件（中国語翻訳依頼）

その他:英語22件、ポルトガル語9件、インドネシア語1件、
ハングル1件(出生・結婚証明書の翻訳など)

(5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校に対して国際理解教育実施に関する情報提供等の支援を行った。

相談件数 8件 うち講師派遣 2校(小学校)、講師派遣人数 3人

(6) ブラジル人自助組織支援

外国人住民の半数を占めるブラジル人住民で構成された自助グループが立ち上がり、団体が円滑かつ効果的な活動ができるようサポートを行った。

ア 豊田日伯協会

主な活動 協会設立式(平成21年4月11日)、ブラジル人保護者を対象とした教育セミナー(平成21年6月14日)、ビバ!ブラジルデー2009(平成21年10月3日)など

イ 保見ヶ丘ブラジル人協会

主な活動 国際フェスタ(平成21年5月17日)、保見夏祭りへの参加、保見団地防犯パトロールへの参加、情報ちらし「保見団地インフォメーション」の発行など

(7) 国際協力機構(JICA)ボランティア説明会開催事業(新規)

独立行政法人国際協力機構(JICA:ジャイカ)の海外ボランティア派遣事業の説明会を開催し、市民の事業への参加や国際協力への理解を促進した。

ア 春の説明会

日時 平成21年4月25日(土)午後5時~7時

参加者数 80人

イ 秋の説明会

日時 平成21年10月3日(土)午後2時~4時

参加者数 39人

3 研修・啓発事業

(1) 日本語講座

市内外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るために、専門講師による日本語講座を実施した。

時期 毎週土曜日 午前9時30分~正午 全20回

前期:平成21年4月11日~9月11日

後期：平成21年10月17日～平成22年3月20日
ク ラ ス 入門～初級レベルの4クラス
受 講 者 全186人（前期101人、後期85人）
出身地：ブラジル、中国、韓国、タイ、ペルー、フィリピン他

(2) 外国人求職者のための緊急日本語講座

2008年末からの雇用状況悪化の長期化に伴い増加している外国人失業者の再就職を支援するため、最低限の日本語でのコミュニケーション能力の習得を重視した日本語教室を開催した。

時 期 1期 平成21年5月14日～9月22日 全50回
2期 平成21年9月24日～12月18日 全33回
3期 平成22年1月12日～2月26日 全17回
4期 平成22年3月4日～3月23日 全8回
いずれも火・木・金曜日
入門クラス 午前10時～正午／初級クラス 午後1時～3時
ク ラ ス 入門～初級レベルの2クラス
受 講 者 延べ188人（入門101人、初級87人）

(3) 国際理解教育セミナー

人権や平和など地球規模の問題への理解を深め、解決のため実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした参加体験型のセミナーを行った。

ア 「外国籍の子ども・青少年を対象としたセルフエスティーム講座～子ども・わかもの元気セミナー～」

時 期 平成21年5月20日（水）、21日（木）
受 講 者 保見地域で活動するNPO法人が運営する日本語教室等や市内のブラジル人学校のスタッフ・在籍者など35人

イ T I A夏の親子国際理解教育セミナー「チョコレートから世界を見よう！」

時 期 平成21年7月4日（土）
受 講 者 豊田市在住の親子23人

ウ 「もっと知りたい？携帯電話のコト」

時 期 平成22年2月27日（土）
受 講 者 8人

(4) 外国語講座

外国人住民や短期来訪外国人とのコミュニケーションを推進するため、多様な語学講座を開催した。

ア ハンゲル講座

時 期 前期 平成21年5月13日～9月2日
毎週水曜日 午後2時～4時 全16回
後期 平成21年11月27日～平成22年3月19日
毎週金曜日 午後7時～8時半 全16回
受 講 者 前期20人、後期21人

イ 中国語講座

時 期 前期 平成21年4月7日～7月28日
毎週火曜日 午後7時～8時半 全16回
後期 平成21年10月15日～平成22年1月7日
毎週木曜日 午後1時半～3時半 全12回
受 講 者 前期19人、後期13人

ウ スペイン語講座

時 期 前期 平成21年5月15日～7月31日
毎週金曜日 午後6時半～8時 全12回
後期 平成21年12月10日～平成22年3月18日
毎週木曜日 午後6時半～8時 全12回
受 講 者 前期18人、後期22人

エ その他外国語講座

①タガログ語

時 期 平成21年8月21日～11月27日
毎週金曜日 午後7時～8時半 全12回
受 講 者 10人

②ドイツ語

時 期 平成21年10月3日～11月21日
毎週土曜日 午後5時～7時 全8回
受 講 者 22人

③ポルトガル語

時 期 平成21年10月8日～12月17日
毎週木曜日 午後6時半～8時 全10回
受 講 者 14人

(5) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座

大規模災害発生時、市の要請によって出動し、外国人被災者への通訳・翻訳といったことばの面からサポートが行える人材を確保し、支援に必要なスキルを高めるための講座を行った。

時 期	第1回 平成21年10月24日(土)
	第2回 平成21年10月31日(土)
	第3回 平成21年11月21日(土)
内 容	第1回 1) オリエンテーション(TIA) 2) 豊田市在住外国人について、外国人被災者対応(市国際課) 3) 豊田市の災害の特徴と外国人被災者への対応(市防災防犯課) 4) 災害図上訓練DIG(特定非営利活動法人レスキューストックヤード松田曜子氏)
	第2回 1) 「災害時のボランティア活動～外国人住民支援」(多文化共生マネージャー・滋賀県商工観光労働部国際課高木和彦氏) 2) 自宅での課題：災害に関する資料の翻訳演習
	第3回 1) 災害シュミレーション「災害時に必要な翻訳&通訳～知識と演習」(特定非営利活動法人多文化共生センター・東京柴山智帆氏) 2) 修了式
受 講 者	26人(外国人9人、日本人17人)
言 語	修了者18人(中国語1人、スペイン語2人、英語13人、ポルトガル語2人)

(6) 小学生国際理解教育学校招待プログラム

市内の小学生742人をとよたグローバルスクエアに招き、大学生を中心とした市民ボランティアグループによる国際理解教育を実施した。開催日、参加校などは次のとおり。

実施日	小学校	児童数	授業実施グループ	実施授業内容
5月28日	山之手	105	名古屋大学 EIUP	留学生から学ぶ
5月29日	東保見	73	幼い難民を考える会	おもちゃを知らない子どもたち
7月3日	飯野	125	TIA	青年海外協力隊について
7月10日	若園	128	Smile	世界の遊び
8月18日	追分	18	愛知淑徳大学	タイを知りたい
10月30日	岩倉	40	愛知淑徳大学	世界が100人の村だったら
11月20日	東山	83	Smile	世界の遊び
12月1日	元城	70	愛知淑徳大学	世界が100人の村だったら
1月15日	中山	100	名古屋大学 EIUP	留学生から学ぶ
	合 計	742		

4 情報収集・提供事業

(1) T I A機関誌発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等のための機関誌「GLOBAL INFO」を発行。県・市町村の国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に配布。

発行回数 年4回（平成21年4月、7月、10月、平成22年1月）
規 格 A4サイズ 4頁
発行部数 3,000部／1回

(2) 国際理解教育ニュースレター発行事業

国際理解教育の教材、セミナーの開催等の情報を、教育関係者を中心に提供。

発行回数 年3回
規 格 A4サイズ 2頁1枚
発行部数 2,500部／1回

(3) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」

市の広報紙に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載した。

発行回数 24回（月2回、毎号掲載）
規 格 A4サイズ 1頁
発行部数 約152,000部／1回

(4) T I Aホームページの運営

日本語の他、ポルトガル語・英語・中国語サイトにT I Aの事業を始め、各種生活情報を掲載し情報提供に努めた。

(5) 多文化カレンダーの作成

外国人住民との共生を促進するための「多文化カレンダー」を作成。平成21年度は国連加盟国192か国全ての記念日と国旗を掲載。

規 格 A2ポスター版
印刷部数 3,000部

5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、支援を行った。

(1) とよた国際交流市民会議

時 期 第1回 平成21年6月12日（金）午後2時～4時
第2回 平成22年3月4日（木） 午後2時～4時
内 容 各団体の事業計画・報告、国際交流活動に関する情報交換、事業協力依頼

(2) 助成金事業

地域の国際化に貢献する国際交流・国際協力・多文化共生をテーマとした新規事業への支援を目的に実施した。

募集案内は4言語（日本語、ポルトガル語、中国語、英語）で作成。

内 容 国際交流・国際協力・多文化共生事業の募集・審査・助成金交付

申請件数 6団体

交付件数 5団体

事業名 1) T I A ボランティアグループ E - I F F

「Enjoy Toyota 第4改訂版作成」

内 容 豊田市及び周辺都市の観光スポット等30か所を取
材、英語と日本語で紹介したガイドブックの改訂。2,000部作成。市内公共施設、ホテル、当協会などに設置配布。

2) Associação Nipo Brasileira de Toyota (豊田日伯協会)

「協会ホームページ立ち上げ」

内 容 外国人住民が豊田市で快適に暮らせるよう、日常生活に必要な情報の提供、豊田市の案内、協会の活動内容を掲載。

3) 保見ヶ丘ブラジル人協会

「外国人日本人プロジェクト(国際フェスタ)」

内 容 ブラジル音楽や食文化の紹介、ゲームや子ども対象の慈善イベントを行い日本人とブラジル人が交流、相互理解を得られるよう国際フェスタを保見団地内で開催。

日 時 平成21年5月17日(日)

参加者 300人

4) PARA CRIANÇAS

「日伯豊田市民交流会一映画『ブラジルから来たおじいちゃん』上映会」

内 容 日本に暮らす日系ブラジル人を取り上げた映画を日伯両言語で上映、監督のトークショー、交流会を開催し相互理解を図る。映画という親しみやすいツールを用いることで子どもから大人まで幅広い層が参加。

日 時 平成21年4月26日(日)

参加者 58人

5) Spring Bon Bon

「見たい！知りたい！感じたい！となりの友だちと遊ぼう！！」

内 容	海外からの赴任者家族が多く住む地域の特性を活かして、多国籍の親子との交流の機会を持つ。日本の伝統遊びの紹介、各国の料理教室。
活動回数	47回
参加者	785人（外国人249人）

6 調査・企画事業

(1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組

地域の外国人住民が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、更には外国人住民がもたらす豊かな個性を生かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討、関係部署との連携に取り組んだ。

また、外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、多文化共生を内包した国際化の推進に努めた。

更に、平成20年度より継続して支援している「とよた日本語学習支援システム」（市より名古屋大学への委託事業）については、システムコーディネーターと協力しつつ、企業及び地域における日本語教室の開催やボランティア募集・派遣等のサポートを随時行いながら、外国人住民に対する日本語学習の機会拡充の一翼を担った。

(2) その他の調査・企画事業の取組

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割、組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を実施した。

7 とよたグローバルスクエア運営事業

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場としてとよたグローバルスクエアを運営した。

(1) ライブラリー、新聞・雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるための図書・雑誌等の収集・提供を行った。

(2) インターネットPC、無線LANの設置

多言語で対応できるインターネット端末と無線LANを設置し、とよたグローバルスクエアを訪れる市内在住外国人を含む市民への情報提供を行った。

(3) 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけを提供した。また、多言語の情報・国際理解のイベント等の案内を収集・提供した。

8 その他 ボランティアグループなどの活動実績

T I Aに所属する8つのボランティアグループ活動の事業に対し、相談と支援を行った。

(1) 国際交流

ア オープンハート

- ①各種ホームステイにおけるコーディネートを行った。

コロラド大学 平成21年5月29日～6月1日

桜花学園大学留学生（韓国）平成21年11月14日～15日

ウエイン州立大学 平成22年3月19日～24日

- ②「タンザニアの子どもたちの環境と文化に触れて考える国際貢献講座」

時 期 平成21年10月4日（日）午後0時半～4時半

内 容 タンザニアの子どもたちの現状の紹介、お菓子づくり、現代
絵画の体験を行った。

参加者 60人

イ 日本文化紹介

- ①豊田市来訪、在住・在勤の外国人に対し、日本文化を随時紹介

（茶道・書道・華道・着付・折紙等）

- ②日本文化体験デー

内 容 喜楽亭にて着付、折紙、習字、お花、お茶の体験を行った。

時 期 平成21年5月31日（日）

参加者 17人

- ③おこしものをつくろう

内 容 おひなさまのお供え物の“おこしもの”を作る講座を開講

時 期 平成22年2月28日（日）

参加者 10人

(2) 国際協力

ほづみ会

タイ山岳民族の子どもへの教育支援を目的としたバザーやタイ理解講座を実施した。

- ①「第20回ほづみ会の集い」開催 平成21年4月11日（土）

内 容 中野穂積氏によるタイでの活動近況報告

参加者 20人

- ②「若園交流館祭」参加 平成21年9月27日（日）

内 容 タイの民芸品、お菓子等のバザー

参加者 3人

- ③「ふれあい講座」開催 平成22年1月16日（土）

参加者 23人

- ④「ほっとかん祭り」参加 平成22年3月14日(日)
内 容 タイ語教室、踊りの披露、お菓子とお茶の試食とバザー
参加者 3人
- ⑤20周年記念誌「暁の空に」を発行

(3) 外国人住民との交流・支援

ア E-IFF

①英語サロンの開催

英語によるスピーチと質疑応答を行った。()内は参加者数。

時 期 平成21年 4月25日(43人)、 5月23日(38人)
7月11日(50人)、 9月27日(16人)
10月18日(20人)、 11月28日(24人)
平成22年 2月13日(43人)

②酒蔵ツアーの開催

外国人を対象とした英語ガイド付きの酒蔵見学を行った。()内は参加者数。

時 期 平成21年11月14日(18人)、 21日(11人)
28日(9人)

③民芸館まつりを英語でガイド

時 期 平成21年10月3日(参加者17人)

④Enjoy Toyota 第4改訂版の発行(2,000部)

⑤その他

内部研修や英語の勉強会、海外からの来訪者に対する通訳、翻訳など依頼に応じ、随時行った。

イ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語(ポルトガル語・英語)表記も含め、提供した。年3回発行。発行部数は各回1,100部。小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布。

ウ 日本語サロン

①日本語教室の開催

外国人住民の日本語学習支援と子育て支援活動を実施した。

前 期 平成21年 4月～9月
学習者154人、託児受入21人
後 期 平成21年10月～平成22年3月
学習者107人、託児受入20人

②子育て情報誌の作成

「のびのび子育て」（5か国語版）の改訂版を作成した。

エ Alpha日本語教室

①日本語教室の開催

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（もちつき、郊外学習）を実施した。

時 期	平成21年	5月～8月、9月～12月	
	平成22年	1月～4月	計3期
受講者数	平成21年	5月186人、9月143人	
	平成22年	1月121人	

②おいでんまつり参加

ボランティアグループが中心となりプレおいでんまつりに参加した。

時 期	平成21年	7月11日（土）	
参加者	外国人・日本人	20名	

オ 日本語教室はじめのいっぽ（新規）

毎週日曜日の午後に新しく開設された日本語教室の運営と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業（料理体験教室・日本文化体験・郊外学習）を実施した。

時 期	前期	平成21年4月～9月	
	後期	平成21年10月～平成22年3月	計2期
受講者数	前期	14人、後期	12人

（4）学習・情報提供

海外生活体験者グループ（平成21年度は活動休止）

（5）T I A自主サークル

既存の自主サークルに加え、平成21年度は「ドイツ語自主サークル NANE」・「ポルトガル語自主サークルピバ！ポルトゲス」・「スペイン語自主サークルフィエスタ」・「英語自主サークル G L O B E」・「中国語自主サークル歩歩高」・「中国語自主サークル華流会」の6つが新たな自主サークルとして加わり、延べ13のサークルが活発に活動を展開した。